

ヴォーリズの建築

山形政昭 講演会

CPDプログラム認定講演会

AIJ 日本建築学会
中国支部岡山支所

－住宅と学校建築にみる特色－

日時：2017年11月18日（土）14:00～16:00＊開場 13:30

場所：岡山県立図書館2階 デジタル情報シアター（岡山市北区丸の内 2-6-30）

定員：約80名（入場無料／事前申込不要）

主催＝一般社団法人日本建築学会中国支部岡山支所（お問い合わせ：岡山支所事務局 有森 TEL:086-226-7508）

後援＝岡山県、岡山市、公益社団法人日本建築家協会中国支部岡山地域会、一般社団法人岡山県建築士会、一般社団法人岡山県建築士事務所協会、岡山建築設計クラブ



神戸女学院図書館

ウィリアム・メレル・ヴォーリズ（1880～1964）は、滋賀・近江八幡を拠点としてユニークな建築活動を行ったことで知られている。その建築は20世紀初頭の米国建築の流れをひくもので、種々の建築に広がる。

講演では住宅と学校建築に注目し、歴史様式からモダニズムへ展開する近代建築の中で、ヴォーリズの建築の特色について述べる。



旧伊庭家住宅

【講師プロフィール】山形 政昭（やまがた まさあき）大阪芸術大学芸術学部建築学科 教授

1949年大阪生まれ。京都工芸繊維大学建築学科卒業、同大学院修士課程修了。工学博士。

1998年より現職。専門分野は建築史及び建築計画学。日本の近代建築及び和洋の住宅建築に関心があり、とりわけ米国人建築家ウィリアム・メレル・ヴォーリズの建築に関して研究を続けている。

著書には『ヴォーリズの建築』（創元社）、『ヴォーリズの西洋館』（淡交社）、『ヴォーリズ建築の100年』（共著、創元社）などがある。大学では建築歴史分野の授業や建築研究演習を担当している。社会活動では、大阪市中心公会堂や南海ビルなど、歴史的建築や文化財建造物の調査、保護に関わっている。

